

2023年4月14日
商工中金

バイオマス発電所を建設するフォレストエナジーグループに対して 総額 73 億 6,000 万円のシンジケートローンを組成

商工中金は、プロジェクトファイナンス（※1）等のオーダーメイド型ファイナンスの取り組みを通じて、中小企業の複雑化・高度化する経営課題に対応し、地域経済の発展に貢献しています。

（※1）プロジェクトファイナンスとは、特定のプロジェクトに対して融資を行い、返済原資をプロジェクトから生み出されるキャッシュフローに限定し、担保も対象プロジェクトの資産のみに限定する融資手法のことです。

商工中金（浜松支店）は、遠州フォレストエナジー合同会社様（本社：静岡県袋井市、代表社員：フォレストエナジー株式会社（以下、「FE」））に対し、バイオマス発電所建設資金として、プロジェクトファイナンスによる総額 73 億 6,000 万円のシンジケートローンを組成しました。本シンジケートローンは、商工中金がアレンジャーを務め、清水銀行、浜松磐田信用金庫、東京センチュリー株式会社が参加し、その組成が実現したものです。なお本シンジケートローンについては、グリーンローン（※2）を適用しています。

同社は、静岡県袋井市で実施する木質バイオマス発電事業のために設立されました。

今回、同社は FE、静岡ガス&パワー株式会社、中部電力株式会社と連携して再生可能エネルギーの流通を行うプロジェクトのため、発電規模 7.1MW の木質バイオマス発電所建設を計画しました。安定した発電量に関する KPI を設定して本プロジェクトに取り組むことで、経営の持続可能性を高め、経済的価値のみならず社会的価値の向上を実現していきます（※3）。

商工中金は、現地訪問や経営者等へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を実施し、プロジェクトの強みと課題を共有。バイオマス発電所の建設が、地域経済の活性化や雇用創出に資するものと判断し、必要な資金を地域金融機関等と協調し、プロジェクトファイナンスとして、本シンジケートローンを組成しました。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、オーダーメイド型ファイナンスの取り組みを通じてサポートすることで、地域経済活性化に貢献してまいります。

【本シンジケートローンの概要】

組 成 金 額	73 億 6,000 万円（コミット型タームローン）
アレンジャー兼エージェント	商工中金 61 億 6,000 万円
参 加 金 融 機 関 等	清水銀行、浜松磐田信用金庫、東京センチュリー株式会社 合計 12 億円
ス ポ ン サ ー	FE、静岡ガス&パワー株式会社、中部電力株式会社
契 約 日	2023 年 4 月 14 日

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



【本プロジェクトの概要】

発電会社	遠州フォレストエナジー合同会社
事業地	静岡県袋井市岡崎字八幡前 6653 番 8 他（小笠山工業団地内）
出資会社	FE、静岡ガス&パワー株式会社、中部電力株式会社
発電定格出力	7,100kW
想定年間発電電力量	約 5,253 万 kWh（一般家庭約 1.7 万世帯の年間使用電力量に相当）
燃料種類	主に静岡県産の未利用間伐材を使用した木質チップ
燃料使用量	年間約 9 万トン
運転開始予定	2024 年 12 月

注：事業概要は本件発表時点での計画であり、今後変更となることがあります。

【完成イメージ図】



（※2）「グリーンローン」について

グリーンローンとは、お客さまが行うグリーンプロジェクト（明確な環境改善効果のある事業・設備投資）をサポートするご融資です。

グリーンローン原則に適合した融資スキームで、その適合性について商工中金または外部評価機関が評価を行い、透明性を確保するスキームです。

商工中金は、グリーンファイナンスフレームワークを策定し、本フレームワークに則って実施される融資が各国際原則等に適合していることについて、株式会社日本格付研究所より評価書を取得しています。

（※3）今回の同社の取組み及び本融資は、上記のグリーンファイナンスフレームワークに準拠しています。その評価結果やKPI等については、商工中金HP掲載の「[グリーンローン評価書](#)」をご覧ください。

社会全体のサステナビリティ向上

